

2015年物理教育研究会（APEJ）夏期大会のご案内

物理教育におけるアクティブラーニングとカリキュラム改革

中教審答申の文面にはアクティブラーニング（AL）という言葉が踊っています。本会は教育現場に根ざした実践研究を旨として活動してきました。東京で開催された物理教育国際会議 ICPE2006 を契機として、本会の中に研究班を設けて AL の研究と実践を積み上げてきました。今後の教育に大きな影響力を持つ答申にどう向き合えばよいのか、今大会では、高校生を対象とした物理の公開授業を実施し、現場での問題点など意見交換の場を設定します。

また、高校教育を受け取る大学でも、教養教育の見直しが進みつつあります。東北大学では理系学生の必修科目として「自然科学総合実験」を実施しています。そのカリキュラム改革の中心におられる須藤先生にその経緯と意義についてご講演を頂き、物理のカリキュラムのあるべき姿について討論の場も設定します。

東北地域の皆様と忌憚のない意見の交換と活発な議論をもとに、交流の場が広がることを期待しています。

主催 物理教育研究会（APEJ）

共催 宮城教育大学 後援 日本物理教育学会東北支部

日程 8月1日(土)、2日(日)

会場 宮城教育大学

会費 一般 1500円 学生 500円

プログラム（予定）

- | | | |
|------|-----------|------------------------------|
| 8月1日 | 9:30 受付 | 10:00～ 原著講演 |
| | 13:00～ | 公開授業（仙台の高校生対象）と研究協議 |
| | 夜 | 懇親会（仙台市内） |
| 8月2日 | 9:00～ | 原著講演 |
| | | 特別講演 須藤彰三（東北大学） |
| | | 「東北大学初年次学生の実験カリキュラム」 |
| | 13:00～ | グループディスカッション「物理カリキュラムをどうするか」 |
| | 15:30（予定） | 閉会 |

実行委員会 委員長 藤原 昇（宮城野高校）、
副委員長 内山哲治（宮城教育大学）
石井登志夫（APEJ 会長 与野高校）
委員 井上清（名取高校）、井上賢（駒場東邦高校）
小川一啓（駒場東邦高校）、増子寛（元麻布高校）

参加申し込み

次ページの参加票に記入の上、事務局まで FAX で送るか、参加票の事項をメールで送信して下さい。宛先は kita@hs.keio.ac.jp Fax 045-566-1376

※宿泊の手配は各自でお願いします。東北の祭りの時期でもあり繁忙期になりますので早めの予約を強くお勧めします。

参加票

フリガナ	
氏名	
<input type="checkbox"/> 全日参加します <input type="checkbox"/> 1日目だけ参加します <input type="checkbox"/> 2日目だけ参加します <input type="checkbox"/> 発表します <input type="checkbox"/> 1日目を希望 <input type="checkbox"/> 2日目を希望 <input type="checkbox"/> いずれの日程でも可)	
発表タイトル	
<input type="checkbox"/> 懇親会に参加します	
所属	
メールアドレス	
当日連絡できる携帯番号など	

アクセス



<市営バス>

仙台駅西口バスプール【9番】乗り場から

「715 宮教大」「710 宮教大・青葉台」「713 宮教大・成田山」行き
 「宮教大前」下車(所要時間約 20分)

「719 工学部経由 動物公園循環」 情報科学研究科前下車、徒歩 10分

「750 工学部経由 緑が丘三丁目」 情報科学研究科前下車、徒歩 10分

「757 工学部経由 西の平・長町南駅」 情報科学研究科前下車、徒歩 10分